

普及現地情報

発信年月日:令和7年(2025年)3月12日
所 属 名:東近江農産普及課東部
番 号:D24029
発 信 者 名:井上、軸屋、近藤、西川



イチゴの栽培研修会を開催！

3月6日に管内イチゴ生産者の技術研さん組織である東近江地域少量土壌培地耕イチゴ栽培研究会(39 戸)の栽培研修会が開催され、生産者 22 名が出席されました。当課が講師として研修を行い、3月からの本圃管理と育苗のポイントを中心に説明しました。

研修では、今作前半の気象・イチゴ栽培の状況を振り返るとともに春の栽培管理と次作の定植に向けた育苗管理について説明しました。特に、1か月予報では温暖傾向の予報であることから換気や遮光管理の必要性について理解を深めました。

また、今作は暖冬で推移し春先も温暖傾向の予報が発表されていることから、病虫害の発生も早まることが予想され、難防除病虫害であるハダニ類、アザミウマ類、炭疽病の対策について、総合防除を含めた効果の高い防除方法について、理解を深めました。近年、天敵の導入が積極的に活用されており、当課は新たな天敵の活用技術として東近江地域農業センターと連携し、アブラムシに対する天敵(コレマンアブラバチ)の実証を行いその成果を紹介しました。ただし、春先は防除の主農薬を天敵から化学農薬に切り替える時期について「見極め」が重要であることについても理解を促しました。生産者からは、今後の管理等について質問や活発な意見が交わされました。

当課では、天敵等新たな技術の検証・普及に取り組むとともに今後も生産者の栽培技術の向上と新規就農者への技術研鑽や交流の場づくりを支援していきます。



今後の栽培管理についての説明



天敵の活用資料